

武雄市人・農地プランの更新について、令和2年7月31日開催の武雄市人・農地プラン検討会において、審査・検討を行ったところ適当と認められましたので、「農地中間管理事業の推進に関する法律」法第26条第1項の規定に基づき、次のとおり公表します。

武雄市告示第124号

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）第26条第1項に基づく農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

令和2年8月6日

武雄市長 小松 政

## 記

### 1. 協議の場を設けた区域の範囲

- ① 武雄町
- ② 朝日町
- ③ 若木町
- ④ 武内町
- ⑤ 西川登町
- ⑥ 東川登町
- ⑦ 橘町
- ⑧ 山内町
- ⑨ 北方町

### 2. 協議の結果を取りまとめた年月日

令和2年7月31日

### 3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

区域	法人	個人	集落営農（任意組織）
① 武雄町	0	0	4
② 朝日町	4	9	3
③ 若木町	0	2	3
④ 武内町	2	2	6
⑤ 西川登町	0	0	3
⑥ 東川登町	1	5	5
⑦ 橘町	0	1	11
⑧ 山内町	2	1	2
⑨ 北方町	1	7	6

#### 4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか

担い手はいるが十分ではない

#### 5. 農地中間管理機構の活用方針

- ・地域の農地所有者やリタイア・経営転換する人等は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
- ・担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。

#### 6. 地域農業の将来のあり方

##### ①～⑨の各区域共通

- ・水田を有効活用して水稲、麦、大豆を中心とした作物の生産を推進するとともに収益性の高い作物への取り組みを行う。

##### ③、⑤～⑨の各区域共通

- ・集落営農組織、認定農業者、認定新規就農者といった担い手に農地の集積を行い、地域の農地保全を目指す。

##### ① 武雄町

- ・集落営農組織、認定新規就農者といった担い手に農地の集積を行い、地域の農地保全を目指す。

##### ② 朝日町

- ・集落営農法人や集落営農組織、認定農業者といった担い手に農地の集積を行い、地域の農地保全を目指す。
- ・集落営農法人については、現在十分な人員が確保されているが、今後減少が見込まれるので加入促進をすすめていく。
- ・施設野菜については県特別栽培等に取り組むなど高付加価値化を目指す。

##### ③ 若木町

- ・中山間地においては、遊休農地とならないよう担い手への集積及び中山間地域等直接支払交付金事業等を活用して農地の維持管理を図る。
- ・経営コストの見直しなど経営改善を行いながら、畜産経営の維持、発展をめざしていく。
- ・法人化へ向けた地域での協議を関係機関と連携しながら行っていく。

##### ④ 武内町

- ・集落営農法人や集落営農組織、認定農業者といった担い手に農地の集積を行い、地域の農地保全を目指す。

- ・集落営農法人については、現在十分な人員が確保されているが、今後減少が見込まれるので加入促進をすすめていく。
- ・施設野菜については革新的な栽培システム・技術の導入や生産コストの低減を図る。
- ・畜産については、自給飼料の生産拡大により飼料費の節減を図ることで経営の発展を目指す。

⑤ 西川登町

- ・茶については、茶園の担い手への農地集積や生産経費の節減を図る。
- ・畜産については、自給飼料の生産拡大により飼料費の節減を図ることで経営の発展を目指す。

⑥ 東川登町

- ・茶については、茶園の担い手への農地集積や生産経費の節減を図る。
- ・施設野菜については、革新的な栽培システムの導入により経営の維持・発展を目指す。

⑦ 橘 町

- ・良食味米の作付けによる高付加価値化と生産技術の高度化による高品質・安定生産を目指す。
- ・施設野菜については、革新的な栽培システムの導入により生産コストを低減し経営の発展を目指す。
- ・畜産については、自給飼料の生産拡大により飼料費の節減を図ることで経営の発展を目指す。

⑧ 山内町

- ・施設野菜については、革新的な栽培システムの導入により経営の発展を目指す。
- ・畜産については、自給飼料の生産拡大により飼料費の節減を図ることで経営の発展を目指す。
- ・中山間地においては、遊休農地とならないよう担い手への集積及び中山間地域等直接支払交付金事業等を活用して農地の維持管理を図る。
- ・茶については、茶園の担い手への農地集積や生産経費の節減を図る。

⑨ 北方町

- ・施設野菜については、革新的な栽培システムの導入により生産コストを低減し経営の発展を目指す。
- ・露地野菜については機械化・低コスト生産を目指す。
- ・果樹については、高品質果実生産の取り組みを目指す。
- ・中山間地においては、遊休農地とならないよう担い手への集積及び中山間地域等直接支払交付金事業等を活用して農地の維持管理を図る。